

# ソフトウェア品質保証責任者の会 Re-born

## 活動計画

2017/04/01

西田尚弘

# SIGの名称・目的・目標

## ➤ SIG名称

- ソフトウェア品質保証責任者の会 Re-born

## ➤ 当SIGの目的

- 関西で活動するソフトウェア品質に関わる人々の交流の場の提供
- 情報交流、技術交流することで互いのソフトウェア品質保証に関するスキルを高める

## ➤ 当SIGの目標・成果物

- 参加者のソフトウェア品質保証スキルの向上
- 成果物について、活動した内容を公開する
  - セミナーの内容を講師が許諾する範囲で公開する
  - 分科会の調査結果を極力公開する

# SIGの活動内容


- ▶ 関西地区は関東地区に比して技術者交流の場が少なく、特にソフトウェア品質保証に関する交流の場は、日科技連SQiPが主催していた“ソフトウェア品質保証責任者の会”がクローズした現在では皆無である。
- ▶ この状況を打破すべく、“ソフトウェア品質保証責任者の会（責任者の会）”の流れを受け、「責任者の会」と同程度以上の交流の場を提供することを第一の活動とする。
- ▶ 交流の場では以下を実施することで参加者相互のスキルアップを図り、メンバの所属組織のみならず、日本の情報産業の発展に寄与する。
  - ▶ 参加メンバもしくは参加メンバが推す講師によるセミナー
    - ▶ 参加メンバが持ち寄ったテーマや、聞きたい内容からセミナーの企画を行う。
  - ▶ 参加者がテーマを発起するソフトウェア品質保証に関する研究活動を分科会形式で実施する。
    - ▶ 分科会テーマ案：“らいとプロセスを考える会”（別紙参照）

# 年間計画

回	年月日	内容	備考
1	2017年5月19日	セミナーと研究会	キックオフ
2	2017年7月21日	セミナーと研究会	
3	2017年9月22日	セミナーと研究会	
4	2017年11月17日	セミナーと研究会	
5	2018年1月19日	セミナーと研究会	
6	2018年3月16日	セミナーと研究会	

※基本、2ヶ月に1回 第三金曜日を開催する。





# SIGメンバーの募集

- ▶ メンバーの募集
  - ▶ 「メンバー募集：する」
- ▶ メンバー応募の連絡先
  - ▶ メールアドレス等、メンバー応募の方法・連絡先を記入してください。検討要



# その他

- ▶ 次シート以降に分科会案“らいとプロセスについて考える会”の活動計画を記載

# らいとプロセスについて考える会（仮）

## 活動計画

2017/04/01

西田 尚弘



# 分科会の名称・目的・目標

## ■ 分科会名称

- **らいとプロセス**について考える会（仮）

## ■ 分科会の目的

- 大規模のプロジェクトに対してのプロセスは近年確立してきているが、小規模プロジェクトに対しては、悩んでいるところも多いと考える。そのため、小規模プロジェクトに対するプロセスを検討して行きたい。
- 閉じた環境だけでは、視野も広がらず、固定概念にとらわれてしまう。そのため、社外の人と交流する事から学びを得ていく。

## ■ 分科会の今期の目標・成果物

- 開発プロセス全般および“小規模”開発プロセスへの理解を深めるためのサーベイ調査を実施する。具体的には下記をテーマとする。
  - 開発プロセス全般について、規格や関連論文の調査を行ないサーベイ論文にまとめる。
  - “小規模”をキーワードとする開発プロセスについて、規格や関連論文の調査を行ないサーベイ論文にまとめる。

# 分科会の活動内容

- 小規模プロジェクトに適したソフトウェア開発プロセスの調査および構築を通じて、ソフトウェア開発プロセスへの理解を深める。
- 小規模プロジェクトに従事する参加者の悩みを分科会全体で共有し、その悩みの“真の原因の究明”と“解決策の考案”を通じて、小規模プロジェクトの問題パターンと解決パターンを可能な範囲で顕にする。
- 今期はサーベイ活動を中心とする。具体的には下記を予定する。
  - 各自にてテーマに関わる資料・文献を調査して持寄る。
  - 上記のうちより有用なものを分担して深く調査する。
  - 各自にて調査結果を報告する。
  - 報告された調査結果をサーベイ論文としてまとめる。